



久田建第467号
平成19年4月17日

国土交通省道路局長 様

久保田町長 川副 綾 身



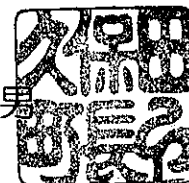
中期的な計画の作成にあたっての意見書の提出について (回答)

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼の標記の件につきましては、
別紙のとおり回答いたします。

中期的な計画の作成にあたっての意見書

平成19年4月17日

佐賀郡久保田町長 川副 綾男



1. 高齢化する道路構造物の管理について

- ・ 重点的な予算の配分をおこない補修による道路構造物の延命化を図る必要がある。

2. 道路の活用について

- ・ 農山村地域における規格道路の歩道、自転車道の幅員3.5mは広すぎる。両サイドある箇所も多く見直す必要がある。
- ・ 農山村地域は歩道等の幅員を縮小し、事業費の縮減を図る必要がある。
- ・ 維持管理予算の拡充を図り、地域のイベント、交流、いやしの場を設け、活性化を図るための沿道区域を拡充する事業と制度を創設して欲しい。

3. 地域の人々といっしょに道路や沿道空間の再生について

- ・ 歩道空間を利用し、花壇などを増やし環境美化やいやしの空間を図る必要がある。これらの維持管理などは、利用者及びボランティア活動の推進が必要不可欠である。

4. 具体的に目標を設定して、スピーディに政策展開について

- ・ 道路整備事業を展開するには、いろんな問題が山積みするが、重点的に予算の配分を行い早期に事業が完成する政策が必要である。

5. 安全で安心できる暮らしの実現について

- ・ 防災・減災については、農山村・漁村地域は、道路構造令や河川構造令に満たない道路や橋梁などがある。早急に改善する必要がある。
- ・ 低平地の災害時、輸送道路や非難道路が危機管理上も特に重要であり、極めて高い位置にある河川堤を兼用道路として整備促進する必要がある。

6. 交通安全について

- ・ 地方の道路は歩道、自転車道の整備が遅れている。安全で安心して生活できる生活者を重視した道路の構築が必要である。

7. 景観・文化的価値の創造について

- ・ 農山村・漁村地域の環境を守り、景観に配慮した道路整備を図り、地域住民の環境保全に対する資質の向上とゴミなどに対するマナーアップを図る必要がある。

8. 観光振興への寄与について

- ・ 有明沿岸道路について、地域の特産品の紹介、歴史や観光案内及び運転者の交流といやしの場となるパーキングエリアを設けてほしい。

9. 沿道環境・地球環境の保全について

- ・ 街路、緑化の推進と道路交通情報の提供、伝達の充実は急務である。

10. 都市の交通体系整備について

- ・ 佐賀県は、都市地域を50分間で結ぶ道路網構想が示され、道路整備のネットワークが構築され現在整備されているが整備には、時間と膨大な費用が必要であり、重点的な道路予算の配分などの施策が不可欠である。
- ・ 有明海沿岸道路整備計画(佐賀・福富間)などの早期完成が重要であり、事業効果もあがり地域全体に活力ある街づくりに貢献することが重要である。

11. 都市空間の整備について

- ・ 幹線道路の整備の中にもパーキングエリアや公園などの広場を整備し、運転者へのゆとりを持たせ交通の安全性を図る必要がある。

12. 渋滞対策について

- ・ 幹線道路のネットワーク整備や既存道路に対する補修や道路、橋梁など構造令にあった整備が急がれている。また、それを実施するためには重点的に道路財源を確保し、重点配分を行い交通車両の安全を確保し、道路渋滞を早急に解消する必要がある。

13. ネットワーク整備について

- ・ ネットワーク整備には、幹線道路と生活道路を区分し、幹線道路の整備には重点的な予算の配分が必要である。また、生活道路については、既存道路の補修や延命化を図り、なお実践的に地域活動の促進を押し進める必要がある。また整備にあつては、大型施設や観光施設などのアクセス道路の整備を優先する必要がある。

14. 道路行政の進め方について

- ・ これからの道路行政は、地域住民の理解を得て一日も早く完成することが必要である。県のネットワーク整備が事業効果を上げるには、重点的な予算の配分と新技術の活用によるコストの低減を図り、早急に完成することを県民が望んでいる。

道路整備の中期計画要望について

1. 道路に関する要望

- ・ 有明海沿岸道路の早期完成と県都市地域を50分間で結ぶ道路網構想が示され、道路のネットワーク整備の早期実現。
- ・ 本町を走る外環状線と有明海沿岸道路インター附近の整備と町道を活用したアクセス道路の整備を促進。
- ・ 国道207号線の交通安全対策(歩道整備)及び嘉瀬橋の改修(河川構造令計画高不適確橋梁)国道444号線久保田橋の渋滞緩和(幅員狭小)道路財源の重点配分による早期完成を図り地域住民のニーズにあった道路のネットワーク整備や地域活動による維持管理費のコストの低減。

2. 中期計画の総括意見

- ・ 中期計画に対する整備計画は、膨大な道路財源が必要になると思われます。その中から幹線的な道路整備や生活関連的な整備また、観光資源や大型施設へのアクセス道路の整備など数多く計画されることとなります。
また、これからは道路整備についても地球環境の保全や地域の環境対策などを配慮した道路整備計画がなされると思いますが、地域の人たちが整備してもらって良かったと思われる道路を重点的に整備し、住民参加型の道路行政を押し進めてもらいたい。また、それに伴う道路予算として特定財源を投入して頂きたい。

上記について、要望や意見を申しましたが早急実現するよう県行政や国の機関などに働きかけをお願いします。